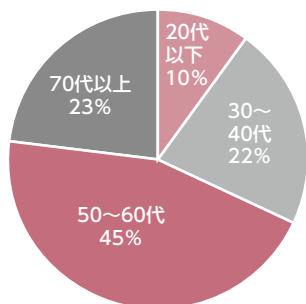
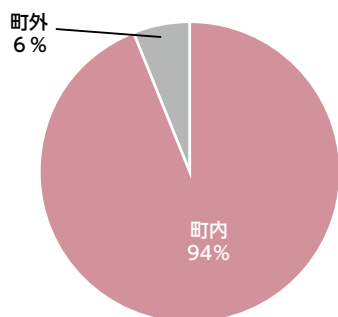


集 計 結 果

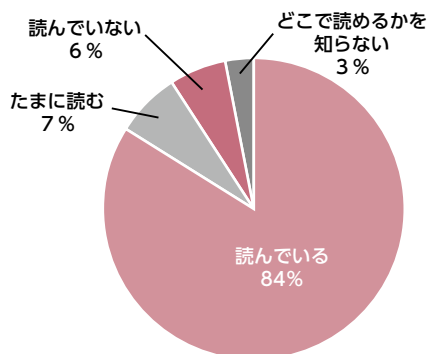
1. あなたの年代



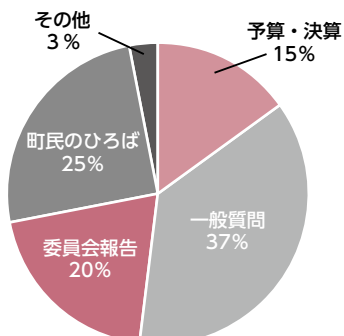
2. あなたのお住まい



3. 議会だよりを読みますか？



4. 議会だよりでよく読む記事



アンケートへのご協力
ありがとうございました！

前回の潮さい150号で実施した読者アンケートでは、はがきや町公式LINEから31名の回答があった。議会としては、集計結果のとおり、若い世代にも読まれるような工夫をする必要があると感じた。

寄せられた数々の意見・感想に応え、住民に議会の情報をわかりやすく届けるため、今後も議会だよりの改善を重ねていく。

自由記述（一部）

- 今後も分かりやすく議会のことを発信してほしい。女性や若者の視点を、さらに取り入れてほしい。(30～40代)
- 毎号楽しみにしている。児童の議会見学は全ての小学校で行ってほしい。町の歴史を授業で紹介したことを伝えてほしいし、議会を日曜日にも行ってほしい。今後も議会に町民の声が届くことを望む。(50～60代)
- 一般質問は、議員ごとではなく分野でまとめる方がよい。例えば教育、福祉、まちづくり等。誰が何を質問しているかではなく、どの分野に課題があるかが重要。こうすることで議員が偏らず、広い視点で課題を洗い出せるのでは。一方、町民が、議会がきちんと行政をチェックする役割を果たしているか等を確認する意味では、議員別の一覧表も掲載してほしい。(50～60代)
- 住民は、議員が議会以外に普段何をしているのか分からないので、国・県への陳情、研修等も積極的に掲載すると、議会活動が見えて理解が深まるのでは。(70代以上)

委員会 活動

7月～9月

委員会では、町の問題点等について調査・審査し、どのような改善や対応が必要かを協議している。また、必要に応じて視察や研修を行い、議員の資質向上に努めている。



地域高規格道路（有明海沿岸道路）整備促進調査特別委員会

要望書の内容は
こちら



議長から要望書を受け取る西野太亮衆議院議員（中央）



国土交通省



財務省

有明海沿岸道路の早期整備について要望書を提出

7月27日、大牟田市（三池IC）～長洲町区間の早期整備について、議長と委員7名で、西野太亮衆議院議員と国土交通省をはじめ関係省庁等に要望書を提出した。

有明海沿岸道路は、地域経済の活性化を図るとともに、災害時における救援活動や支援助物資の輸送路となる「命の道」としての役割も果たすものであり、早期整備が本町住民の願いである。

現在、荒尾市大島の高架橋下部の工事が着工している。今後引き続き要望活動を重ね、しっかりと地元の声を届けることが必要であると感じた。

研修・視察報告



県内の町村議員が受講した

町村議会議員研修

「地方創生とまちづくり」

10月4日、熊本市の県立劇場において、NPO法人グリーンバレー理事の大南信也氏を講師に、研修会が行われた。

大南先生は、過疎化した地域が生き残るための解決策に取組まれている。人材の集積と、地域内の経済循環による地方創生の講話があり、人材確保の必要性を感じた。

○新川漁港（長洲町側）での土砂浚渫の公開試験視察



港内での浚渫作業

8月30日、玉名市は、新川漁港（長洲町側）港内の堆積土砂を浚渫する公開試験を実施し、地元住民を含め約50名の関係者が見学した。

これは海底の堆積土砂を小型ポンプによって吸引し、移動させて浚渫する手法で、他県での実績がある。

町議会では、6月29日に、漁港管理者の玉名市長へ港内の堆積土砂の浚渫工事を要望しており、今後も動向を注視していく。

建設経済文教常任委員会

○ゆたかな学びの実現・教職員定数改善を図るための、2023年度政府予算にかかる意見書提出の請願を審査

参考人等の説明をもとに審査を重ねる中で、「高校でも35人学級が必要か」「専科教員は不足しているのか」等のやりとりを行い、それらをふまえて、全会一致で採択すべきものと決定した。



十分な教職員の配置を

また、「学ぶは真似る」ということで、先進地の事例も参考にしながら、『潮さい』で工夫している点や課題を洗い出した。明確になった改善点に取組み、今後の議会だよりの充実した紙面づくりに活かしたい。

研修「先進事例と議会改革」
8月26日、月刊誌『くまもと経済』の記者である宮崎泰樹氏を講師に招いて研修を行い、議会広報の役割を見直した。

議会広報の編集にあたっては、ポイントを明確にすること、議員の意図を伝えること、住民参画コーナーをつくり住民の反応を行政に活かすこと等が重要であると話された。

広報調査特別委員会



県内の事例を紹介する宮崎氏

新学校給食センター内覧会

8月16日、荒尾市と町が共同で建設した学校給食センターの内覧会が行われ、議員全員で視察を行った。自治体を越えた取組は県内初である。

最新の設備を導入し、衛生管理を徹底している。調理能力は1日最大6000食で、アレルギー対応食も約80食調理できる。本町の小中学校には、1日1200食が配送されている。

また、非常用発電設備等を備え、災害時には3日間の米飯の炊出しが可能である。



熱心に説明を聞く議員

町民のひろば

傍聴席から

匿名希望さん（60代・女性）

初めて傍聴しました。議場の扉を開けた瞬間、緊張感が張り詰めていて少し緊張しましたが、女性議員と男性議員の一般質問を傾聴し、町を良くしようと質問1つ1つに熱意が感じられ、執行部の答弁にも必死さが感じられたのが印象的でした。

次の議会もぜひ傍聴しようと思っていますが、傍聴者が数名しかいなく、もっと多くの皆さんに、町のより良い発展に力を注いでいる議会の傍聴を呼びかけたいと思います。

地域レポート

立野区



長洲町がものづくりの町であるように、立野区はものづくりの区と言えるかもしれない。「ひのきのチップ」を使った工芸品や、子どもたちとつくった「ハーバリウム」で集会場を美しく飾っている。また、畑で野菜を育て、年4回季節の料理パーティを開催している。「次は何をつくろうか？」ものづくりの好きな区民の皆さんの夢がどこまでもふくらんでいる。



ガラス瓶にドライフラワー等を入れ、オイルで閉じ込めた「ハーバリウム」

長洲町議会情報公開制度

町民の皆さんの請求に基づき、議会が保有する情報を公開する制度です。

令和3年10月1日から令和4年9月30日までの情報公開請求は、ありませんでした。

皆さん傍聴に来てみらんわ！

次の定例会は

12月12日(月)
開会の予定です

※一般質問の内容は町ホームページで閲覧できます。

■問い合わせ先

議会事務局

電話 78-3291

手続きは住所・氏名・年齢を書くだけです

ひとこと

議員となり早一年が経過した。同時に広報委員に選任され、メンバーの一員となって「潮さい」の編集に取組んでいる。表紙の写真、定例会、臨時会の予算や決算、条例改正、一般質問、常任委員会等の議会活動を町民の皆様にお届けするため、試行錯誤しながら進めている。ニュースやトピックス等ありましたら、ぜひご一報いただきたい。

(福田)

発行責任者	議長	委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長	委員
福永	濱村	福本	林	前田	田成	福田	荒木	睦子	陸子
栄助	芳光	みや子	敏哉	美和子	護	史治			

広報調査特別委員会

「ながす議会だより 潮さい」は

長洲町議会

検索

でもご覧になれます。